

第 95 回紫友まち歩き

菜の花と梅の湘南まち歩き

2020年最初のまち歩きは、湘南の二宮と大磯に咲く菜の花と梅の花を楽しもうという企画でした。晴れていれば二宮の吾妻山から菜の花越しに富士山や相模湾を眺めることも期待できます。当初毎回土曜ということで2月1日土曜を予定日としていた。しかし、案内人が下調べで旧吉田茂邸に行くと、なんと毎月1日は消防訓練で、2月1日は休館だということが判明。ガーン、どうしよう。次の週の8日を予備日にしていたので、遅らすことにした。が、危なかった！下調べをせずに1日に旧吉田邸が休館であったら、どのようになっていたか……（冷や汗）

8日土曜は晴で少し雲も出ていたが、どうにか菜の花越しに富士山も見ることができましたし、旧吉田邸の満開の梅の花も楽しめました。天気も良く、まち歩きはスタートしました。

日時：2020年2月8日(土)

集合時間：一部11時（吾妻山と昼食）、
二部13時（徳富蘇峰記念館と旧吉田茂邸）

集合場所：JR二宮駅北口改札前

参加者：一部16人、二部20名参加

案内人：小林017

懇親会：平塚駅そば 直七

懇親会参加者：19名

歩いた歩数：14,600歩

<まち歩き>：

■まち歩き行程

一部：JR二宮駅→吾妻山山頂→昼食魚処にしけん→二宮駅

二部：二宮駅→徳富蘇峰記念館と梅園→バス移動→旧吉田茂邸→バス移動→大磯駅→JR移動→平塚駅近くの懇親会→解散

<スタート>

① JR二宮駅：

早めに来た人が数名いました。一名二宮駅を乗り過ぎたという連絡が入る。駅前の菜の花祭りの

人に吾妻山を確認して、あとから登ってきてと連絡する。また、山の階段がつかいかもという人には、少し早めに出かけてもらう。

② 吾妻山山頂：

登り初めの階段が大変だった。



途中、水仙も咲いていて眺める。登り途中の眺めでは、二宮沖の太平洋が輝いてきれいだという人もいた。



山頂は混雑し、菜の花と富士山を楽しんでいる。同期3名の写真を撮る。



遅れた一人もどうにか間に合い、菜の花越しに富士山が見える場所で記念写真を撮る。



(注) 写真の中央奥に富士山あり。
集合写真は最終ページに掲載。

ここで案内人が、吾妻山山頂の滑り台を昔楽しんだ仲間に滑ってきては、と進める。なんと、我も我もと男性も数名参加。しまった！！これで吾妻山を下るのが10分以上遅れる。仕方ない。



一部の人たちは吾妻神社のお参りをして待つ。次の昼食会場に電話をかけようとする携帯に電話が入る。気になり確認してきたのか。



下りを滑らないようにと注意しながら下っている。東海道線の跨線橋を渡り、1号線に沿い、小田原方向に歩いて行く。

③ 昼食魚処にしけん：

12:10過ぎの到着だ。案内人は二宮への移動に15分ほどかかかると思っているの、時間が気になる。お店のおやじさんが料理を少しずつ出してくれる。どうにか全員に注文した料理がそろそろ。当然ビールも飲む人多数。金目煮つけはおいしいと評価してもらい良かった。恋人セットも楽しむ。



煮つけ汁もおいしいとご飯をお代わりし、煮汁をかけて食べていると親父さんも喜んでくれた。親父さんに聞くと伊豆の稲取からの金目だという。ゆっくりとおいしい魚を楽しんでもらえれば良かったが、時間に押されて急いで食べていただき申し訳なかったと案内人は反省しました。

④ 二宮駅集合：

しかし、時間は押してきている。案内人は二宮駅に急いで向かったが、集合時間の13時を5分ほど遅れてしまった。二部から参加集合の4名は、北口のバス停で待っていてくれた。案内人は、次に向かう集合場所に導く。昼食後なので、身体の動きも鈍く、10分ほどの遅れで二宮駅を徳富蘇峰記念館に向かって歩いて行く。

一応、二宮名物のガラスのウサギ像の写真は撮っておきました。



⑤ 徳富蘇峰記念館と梅園：

途中のキンカンやミカンの実の黄色を楽しみながら、13：20分頃に記念館に着く。館長がビデオで徳富蘇峰の人物の紹介をしてくれる。



明治から昭和戦後期にかけての日本のジャーナリスト、思想家、歴史家、評論家。24歳で著した「将来之日本」でデビューし、東京に出て、民友社を興し、総合雑誌「国民之友」、「国民新聞」を創刊し、「近世日本国民史」を著したことで知られる。今年に収蔵印鑑の企画展で、収集された印鑑の紹介や展示もあった。



13：50分近くになっているので、案内人は、申し訳ありませんが、14:05発のバスに乗りたいたので、55分にはここを出たいとお願いする。(これを逃すと14：50のバスになる)

申し訳ないことに5分ほどで梅園の見学をしても

らう。入り口近くの古木の梅の花が、下に咲く水仙と相まってきれいに見えました。



帰りの道はショートカットの細道を使い、予定より数分早く着くことができた。良かった。あとはゆっくりとできる予定。

⑥ バス移動：

二宮駅北口から大磯駅行きのバスに乗り、城山公園前で降りる。一名が忘れ物をしてしまい、遅れてくることになった。あわただしい移動で、申し訳ないと案内人は反省する。

⑦ 旧吉田茂邸：

10人ずつの二組に分かれガイドの説明が始まる。兜門の説明中に遅れた一人も参加できた。良かった。



入り口の兜門下には車寄せがあり、上皇御夫妻が皇太子時代に訪問されたときには、車を兜門前で降り、中へは歩かれて行かれたそうですと説明。平成21年の火事（原因不明。平成29年4月に再建公開。）で焼け残ったのは、兜門、サンルームや七賢堂だけだったとか。現在、旧吉田邸は神奈川県城山公園の一部として管理されている。梅の花がきれいだ。



建物内部の案内では、自室や他の部屋から富士山を眺めるのが好きのため、大きな窓や部屋の向きにも気を使っていたという。残念ながら午後は雲が出てきたため、部屋からの富士山は眺めることができなかった。



良く晴れ、富士山が見えている写真の写真を撮る。



庭園見学で、七賢堂の中も見学できた。



最後はサンフランシスコを眺める葉巻を持つ吉田茂像を見る。



⑧ バス移動→大磯駅：

16:03 発のバスで大磯駅に向かう。10分ほどで着き、案内人は時間調整を考え、一列車遅らし、大磯駅前で買い物などをしている。



16:28の列車に乗ったが、4分で平塚駅についてしまい、まだ30分近く時間があり、懇親会場前で待ってもらおう。

⑨ 懇親会：

17時から3時間飲み放題を楽しんでもらう。新規参加の人からの挨拶に続き、3月7日「地下大神殿 龍Q館（巨大貯水槽・首都圏外郭放水路）と首都河川・治水の歴史・江戸から現代まで」と4月3日～5日の「吉野の桜・御室の桜」のまち歩き紹介がありました。予定に入れるとともに参加の申し込みをよろしく。

8時過ぎに閉会となり、平塚駅からの長旅で眠って乗り過ごさないようにと祈りながら、案内人は皆さんを見送りする。

今回はバタバタとしてしまいました。今年もゆっくり、ゆったりと楽しんでいきましょう。

以上

菜の花と富士山をバックに集合記念写真を撮りました。写真の中央には、見にくいですが富士山が見えています。

